

## 祖父母のみなさんと語る会

■学校開放日の11月17日(水)、10時より多目的教室で、「祖父母のみなさんと語る会」を行いました■この日は、30名ほどの祖父母のみなさんからご参加いただきました■はじめに、菊地校長からこれまでの子どもたちの活躍の様子を写真で紹介しました■その後、祖父母のみなさんからご質問やご意見をいただきました■時間を守ることの大切さ、いじめ問題、地震発生時の危機管理、書くことの大切さなど、たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました



## 人権の花を植えました！

■学校開放日の十一月十七日、地域人権啓発活動活性化事業「人権の花運動」として、上の写真のような花植えを実施しました■また、この日はピオラの花をピオトープや学校前の花壇に植えました■人権擁護委員や法務局の方などもおいでくださり、高橋博さん・高橋勉さん・辻耕一さんのご指導のもと、子どもたちも精一杯活動に取り組みました。

### — 「人権の花運動」の目的 —

花の種子・球根などを児童が協力し合って育てることを通じて、協力・感謝することの大切さを生きた協力として学び、命の尊さを実感する中で、人権尊重思想をはぐくみ情操を豊かにすることを目的とする。

## 12月の主な予定

日	曜	校内の予定
1	水	安全の日・安全点検
2	木	クラブ(今年度最後)
3	金	P常任委員会19:00
4	土	人権週間(~10日)
6	月	心を育む給食週間(~10日)
7	火	なかよし給食・ハッピータイム
9	木	委員会(卒業アルバム写真撮り)
13	月	指導部会
14	火	代表員会
16	木	授業4校時 個人面談(17・20・21日)
22	水	第2学期終業式 2学期学校評価会議
23	木	(祝)天皇誕生日 年末年始休業(~1月5日)

## 1月の主な予定

日	曜	校内の予定
1	金	(祝)元日
6	木	第3学期始業式 安全の日・安全点検
8	金	書初め大会
10	月	(祝)成人の日
11	火	学びのルーム ICT支援員来校日
12	水	通学班会 通学路点検・一斉下校 指導部会
14	金	校内研究会
17	月	職員会議
18	火	2年チューブすべり(朝日自然の家)
19	水	CRT学力検査(~20日)
21	金	避難訓練
25	火	1年チューブすべり(朝日自然の家)
26	水	授業B日課4校時 第2回就学時オリエンテーション

平成22年度

# 南部っ子

★★★★★★★★★★★★

発行日 平成22年12月1日

発行所 寒河江市立南部小学校

★★★★★★★★★★★★

<学校教育目標>

学び確かに 心豊かに 体健やかに

## 子どもたちに学ぶこと



「おはようございます!」「おはようございます!」朝、校門のところに立っていると、登校する子どもたちと私のあいさつが響き合います。春に立っていたころは、「おはようございます...」「おはようございます...」という、小さな声しか聞こえてきませんでした。そんな中で大きな声であいさつするのは勇気がいります。だから、自然とみんな小さな声であいさつするのが子どもたちの当たり前になっていました。

でも、これまで、児童会のあいさつ運動やPTA生活部のあいさつ運動、お地域の皆様方より積極的なあいさつの声掛けをしていただいたおかげで、子どもたちは「相手に伝わるように」というよりは、「相手に『元気』が伝わるように」といった方がいような快活なあいさつができる子が多くなりました。

そんな姿に気づき、「ああ、南部小学校の子どもたちってステキだな!」と感ずきます。元気にあいさつする子が増えると、それが南部小学校の雰囲気になり、元気にあいさつするのが子どもたちの当たり前になります。そんな中になると、小さな声であいさつするのが、はずかしくなります。

こんなふうに、元気にあいさつできる子が多くなると、それが不思議と子どもたちに少しずつうつるかのよう広がっていきます。そして、いつの間にかたくさんの子が元気にあいさつができるようになりました。

子どもたちのこんな姿から、子どもたちを育てるのは親や教師やまわりの大人だけでなく、実は子ども同士の雰囲気、「子ども同士のかかわり」が大切で、周りが互いに育て合うんだということを教えられました。

「宿題をしてこない友だち同士ならば宿題をしないのが当たり前」、「みんな宿題をしてくる仲間ならば、宿題をしてくれるのが当たり前」なのです。

だから元気にあいさつする子どもを育てたければ、半年かけて、一年かけて元気にあいさつする雰囲気をつくってやるのが私たち周りいる大人の役目なのではないでしょうか。

今、目の前にいる子どもたちにとっての当たりの質を、少しずつ高めてあげることが大切なのだと、あいさつをする姿を見て子どもたちに教えられました。

一人一人が良くなるようにすることはもちろん大切ですが、全体が良くなれば自然にその中にいる子はよくなります。

だから我が子を育てたいと思うときは、友だちも良くなれないといけません。

南部小の子どもたちがよりよい方向に育っているのは、「我が子でなくても、いけないことをしてやら、叱るときは叱る!」という南部地区の雰囲気が子どもたちにとっても良い影響を与えてくれているのだと思います。

この雰囲気を生かして、学校でもさらに元気にあいさつの飛び交う子どもたちに育てたいと思います。

(校長 菊地 宏 哉)

# 南部小文化祭 ～一人ひとりが堂々と表現～

十一月五日(金)、今年度の「南部小文化祭」を行いました。昨年度は、新型インフルエンザの流行に伴い延期しての開催でしたが、おかげさまで今年度は予定通り実施することができました。子どもたちはこれまでの練習や準備として取り組んできたことを、精一杯の表現で発揮することができました。当日は、たくさんの方の保護者や地域のみなさま、第二幼稚園とみなみ保育所の年長児のみなさんからおいでいただき、ありがとうございました。



↑ 1年生の劇「おむすびころりん」  
2年生の群読・踊り  
「おまつりだ！よっちょれ」 ↓



↑ 3年生の劇「ちいちゃんのかげおくり」  
4年生の合唱「とびだせロケット」「いつだって・リコーダー演奏「オーラリー」 ↓



↑ 5年生の組体操「心をひとつに技に挑戦」  
6年生の創作劇「南部ふしぎ発見！  
～レッツ・ゴ歴史探検隊～」 ↓



## 本校卒業生が2週間の教育実習

■11月15日(月)～26日(金)、本校卒業生である大泉真奈美さんが、2週間の教育実習を行いました■配属学級は2年1組で、担任の渋谷登志美教諭の指導のもと、子どもたちと一緒に様々な学習や活動に取り組んでくれました

■研究授業では、算数「三角形と四角形」に取り組み、子どもたちが様々な形の中から三角形と四角形を見つけ出す活動を中心にした授業を実践しました■また最終日には一日、担任に代わって授業や朝の会・給食指導などに取り組みました■笑顔がとともすてきで、子どもたち一人ひとりにていねいに対応して下さるので、子どもたちも大好きでした



## 「南部っ子」秋の俳句より

### 【一年】

こうえんで つよくかせぶき おちばシャワー  
くりごはん くりのとりあい ほくーばん  
あかとんぼ お日さまあびて きもちいい  
かせにのり おちばがおどる さあらさら  
こうようも ほくのほっぺも まっかつか  
やきいもや おとがきこえて そとにでる  
きものきて おいしいたよ 七五三  
あきのよる かほちゃおばけ おどりだす  
あんどう あおい  
おおえ たつや  
さとう みずさ  
ばば ゆきの  
おはら ゆうし  
おあた ゆめ  
しらた なるみ  
はらだ りな

### 【二年】

いもに会 じゅんさいも とろとろだ  
新米だ きらきら光る 白いつぶ  
外に出て はあっとしたら 白いき  
北風と いっしょにおどる おちばたち  
どんぐりが ころころおちる あきです  
つるりも ホクホクおいしい いもこじる  
お月さま 今夜もきれいなまん月だ  
なっている すず虫たちの 合しょうだ  
清野 宇野 横倉 武田 佐藤 石山 荒木 小林  
永愛 稀ほの 巧一郎 拓己 花

### 【三年】

風がふく 茶色い落ち葉 ひらひらと  
キノコたち 木の根っこから 顔を出す  
やきいもが 葉っぱの中で あつあつと  
秋の森 色とりどりの じゅうたん  
足元で もみじがカサコソ 音立てる  
くりごはん あまくておいしい 秋の味  
秋にはね 空から落ち葉 ふってくる  
柿むいて 横からそつと つまみぐい  
吉見 小高 柴橋 茨木 荒木 舟越 鈴木  
優凜 葉圭 未彩 花嶺 日向

### 【四年】

秋の風 もみじはいそいで きがえたよ  
秋が来た 父の賞品 松たけだ  
すすきのほ 風にふかれて おどってる  
どんぐりさん ぼつしかぶって こんには  
寒さ来て おち葉ひらひら おどってる  
真っ赤だな 秋を感じる もみじの木  
まつたけよ においでほくらを ひきつける  
十五夜の 夜空をながめ ふと思う  
氏今 白氏 蓼江 松岡 長岡  
家井 田家 沼口 昇大 希

### 【五年】

猛暑過ぎ 紅葉そまらず 冬迫り  
しんしんと ふりつむ雪は 道具なり  
葉の色が 秋と一緒に 変わってく  
秋深き 落ち葉ひらひら 風にのる  
おいしいね 新米でおにぎり 収穫祭  
秋深し 夏のもう曇が なつかしい  
秋の朝 ふとんの中から 出たくない  
くりごはん 自然の甘さ 秋の味  
川佐 宮阿 遠鈴 松安  
越藤 林部 藤木 本孫  
知 舞優 耀大  
聡魁 代尚 野作 広雅

### 【六年】

最上川 川をのぼるよ さけたちが  
木を見ても 落ち葉をふんでも 秋だなあ  
屋根の下 干し柿のれん みことだなあ  
さく畑 夕焼け色の 花をつむ  
さんま焼く においにさそわれ おなかすく  
つやつやと かがやく新米 宝石だ  
秋になり 柿やりんこの 食べほうだい  
落ち葉おち 真っ赤なじゅうたん 早がわり  
高島 鈴木 志田 伊藤 氏家 秋葉 鈴木 木村  
和玖 理美 華純 月鈴 悠麻 海雄  
和紀子